

私の北軽井沢の山荘は古くて隙間だらけなので、常に虫との戦いです。中でも困っているのが、「カマドウマ（通称カマディ）」「ハサミムシ（通称ハサミン）」それに「カメムシ（通称カメ吉）」です。カマドウマはピョンピョン跳ねるだけで、特に害はありません。ネズミ用の粘着トラップを仕掛けておけば、ほぼ一扫できます。ハサミムシは、窓の隙間なんかにはいますが数が少なく、あまり気になりません。

困るのはカメムシです。冬の間、どこからともなく屋内に侵入し、いろいろな「隙間」で越冬します。春になると目覚めて、屋内のあちこちに現れるのです。掃除機で吸ったり叩いたりすると悪臭を放つので、むやみにやっつけられないのです。

私の山荘にいるカメムシは大小2種類です。そのうち小さいほうが「ツマジロカメムシ」という種類です。漢字では「棲白亀虫」で、翅の下部が白いので、この名があります。小さくても臭いは強く、春にはいつも困らされています。

(2024年5月中旬／北軽井沢)

